



梅雨前線によるダム流域の降雨状況 ～平年を上回る降水量により長期間の洪水対応～

北上川ダム統合管理事務所では、梅雨前線等に伴う降雨により、7月は長期間にわたる洪水対応を行いました。

四十四田ダム、田瀬ダム、胆沢ダム流域では、7月の月降水量が直近20年間[※]で最大を記録しました。（※胆沢ダムは管理開始から6年間で最大）

また、7月9日には令和2年5月の治水協定締結後初の事前放流を四十四田ダム、御所ダム、湯田ダムで実施し、大規模な洪水に備えた対応を行いました。

◆令和2年7月の降雨の状況

梅雨前線等に伴う降雨により、四十四田ダム、田瀬ダム、胆沢ダム流域で7月の月降水量が直近20年の最大を記録しました。

（詳細は別紙のとおり）

- ・四十四田ダム流域： 令和2年7月の月降水量 343mm（直近20年の最大）
直近20年平均（199mm）の約1.7倍を記録
- ・田瀬ダム流域： 令和2年7月の月降水量 434mm（直近20年の最大）
直近20年平均（187mm）の約2.3倍を記録
- ・胆沢ダム流域： 令和2年7月の月降水量 480mm（管理開始から6年の最大）
管理開始から6年平均（178mm）の約2.7倍を記録

◆ダムの操作状況

梅雨前線等に伴う降雨により7月は断続的な降雨が続いたため、各ダムではその都度体制を組み、ダムの操作を実施しました。（詳細は別紙のとおり）

7月9日には、規模の大きい降雨が予測されたため、四十四田ダム、御所ダム、湯田ダムにおいて新たに取組む事前放流を初めて実施しました。

※事前放流とは、大規模な洪水が予測される場合、ダムの利水容量の一部をあらかじめ放流し、貯水位を下げる操作のことです。

※速報版につき、今後情報が変更となる可能性があります。

※ダムに関する情報につきましては、当事務所のホームページでご覧頂けます。

ホームページURL <http://www.thr.mlit.go.jp/kitakato/>

《発表記者会：岩手県政記者クラブ》

＜問い合わせ先＞

国土交通省 東北地方整備局 北上川ダム統合管理事務所

〒020-0123 盛岡市下厨川字四十四田1番地

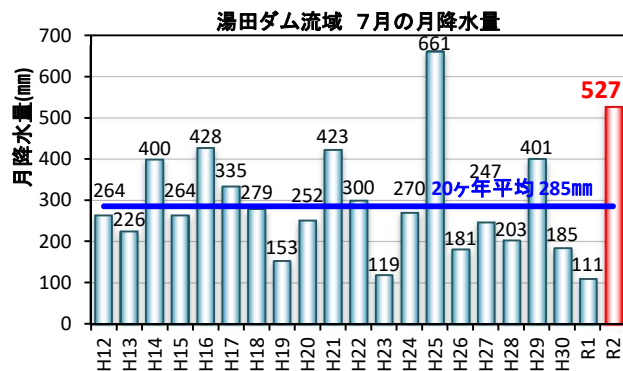
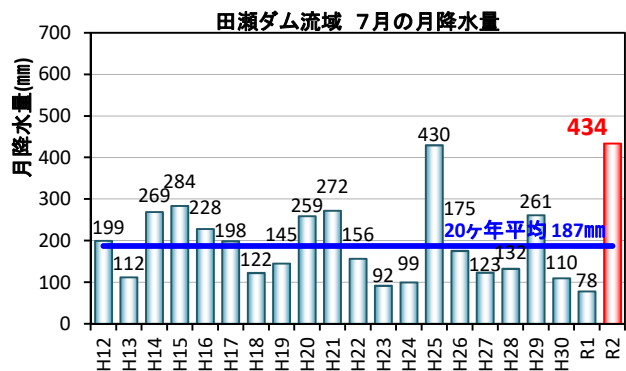
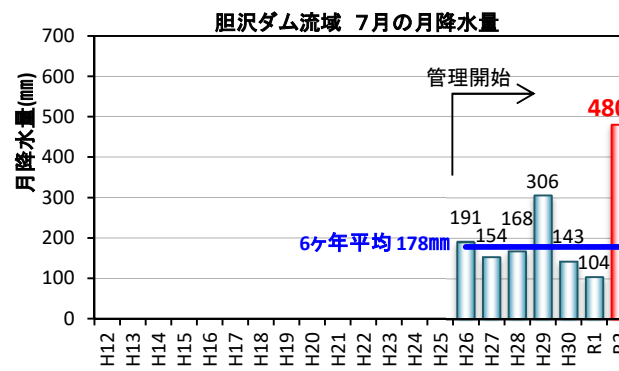
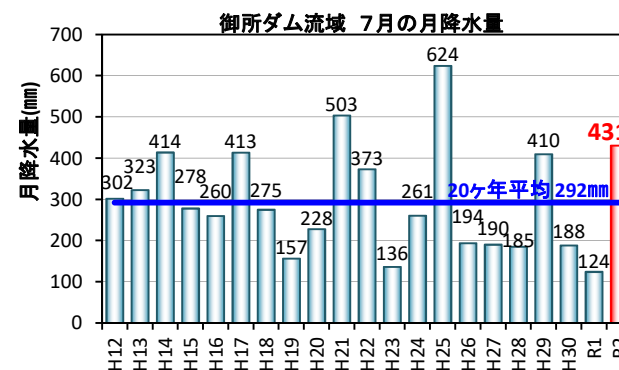
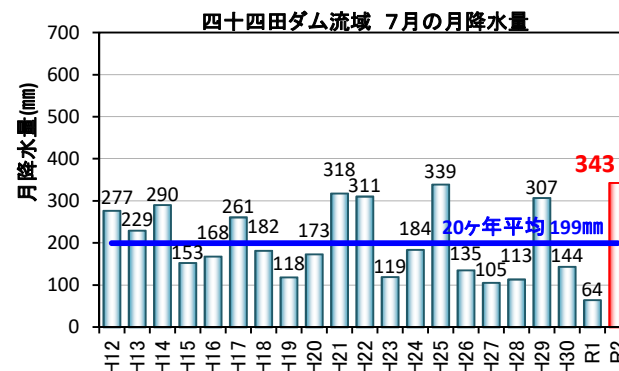
（代表TEL: 019-643-7831）

副所長(管理) かたの まさあき 片野 正章（内線 204）

管理第一課長 あべ たかあき 阿部 孝章（内線 331）

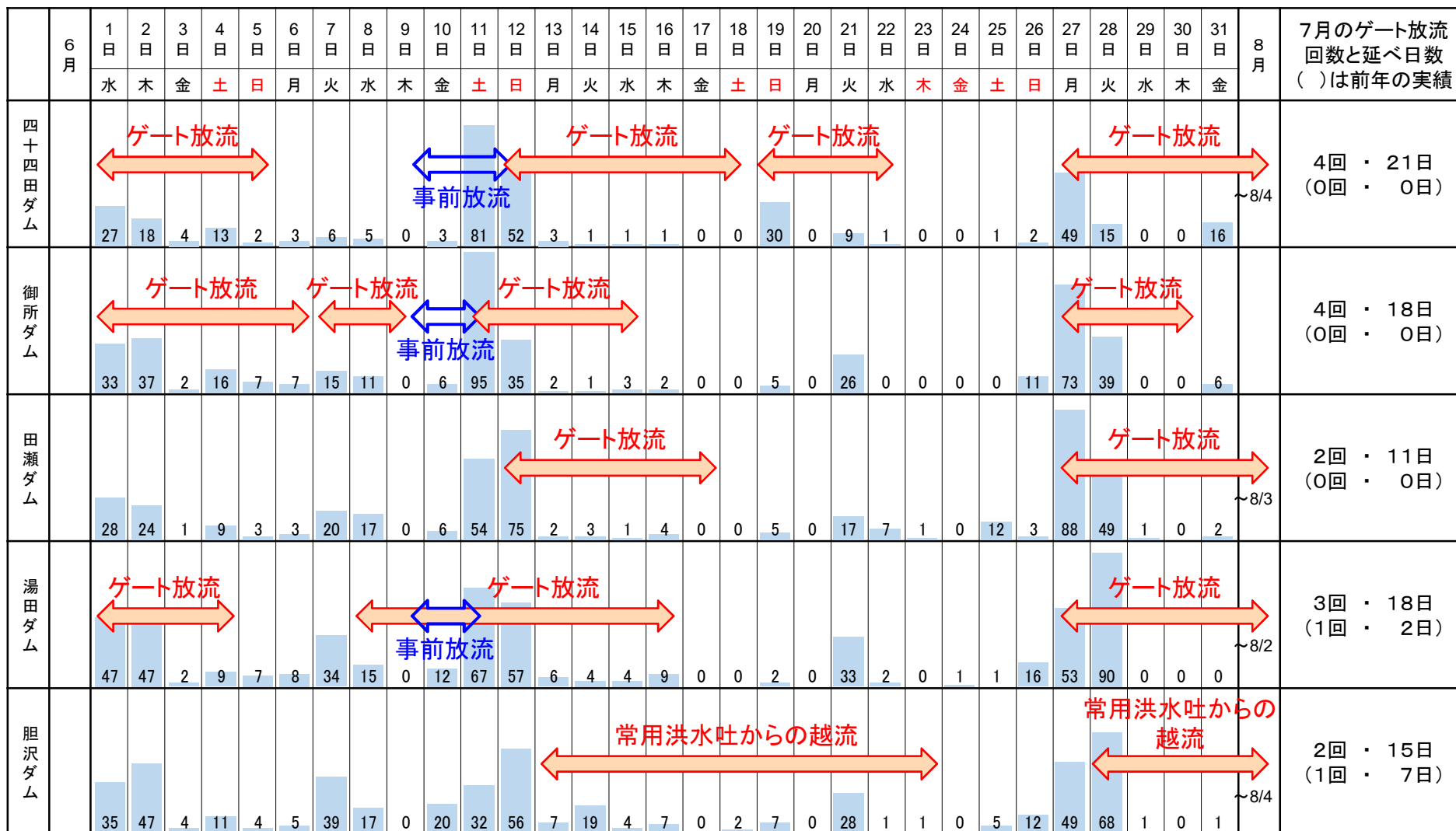
○ 梅雨前線等に伴う降雨により、四十四田ダム、田瀬ダム、胆沢ダム流域において7月の月降水量が直近20年の最大を記録した。

| ダム名 | 直近20年(H12~R1)の7月の月降水量 | | 令和2年7月の月降水量 | | |
|--------|-----------------------|---------|-------------|-------------|-------------|
| | 直近20年最大 | 直近20年平均 | 月降水量 | 直近20年における順位 | 直近20年平均との比較 |
| 四十四田ダム | 339mm/月(H25) | 199mm/月 | 343mm/月 | 第1位 | 約1.7倍 |
| 御所ダム | 624mm/月(H25) | 292mm/月 | 431mm/月 | 第3位 | 約1.5倍 |
| 田瀬ダム | 430mm/月(H25) | 187mm/月 | 434mm/月 | 第1位 | 約2.3倍 |
| 湯田ダム | 661mm/月(H25) | 285mm/月 | 527mm/月 | 第2位 | 約1.8倍 |
| 胆沢ダム | 306mm/月(H29) | 178mm/月 | 480mm/月 | 第1位 | 約2.7倍 |



○ 梅雨前線等に伴う降雨により、7月は長期間にわたる洪水対応を行った。7月9日には四十四田ダム、御所ダム、湯田ダムにおいて事前放流を実施し、大規模な洪水に備えた対応を行った。

■ 令和2年7月の洪水対応 (※表内の数字は日雨量)



(参考) ゲート放流(事前放流)時の対応

- ダムへの流入量の増加によりゲートからの放流が必要となる場合、下流河川の沿川住民への警報による注意喚起、警報車によるパトロール、関係機関への放流の通知を行ったうえで放流を開始する。
- ゲート放流開始後も、気象情報やダムへの流入量、貯水位等を監視しながらゲート開度の調整を続ける。

■洪水時の放流対応の流れ

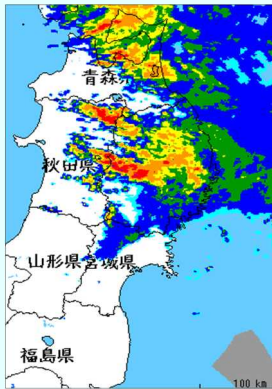
情報収集

洪水の発生が予想される時には、気象情報や各観測所からの雨量・水位等のデータ情報をもとに、今後のダム流入量を予測し、洪水調節及び放流量の見直しを検討する。



▲ レーダ雨雪量計

レーダ雨雪量計による観測結果



◀ CCTVカメラと撮影画像

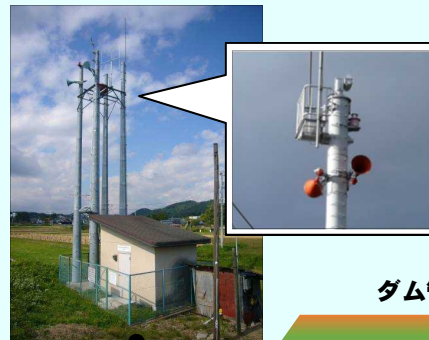
▼ 雨量観測所と水位観測所



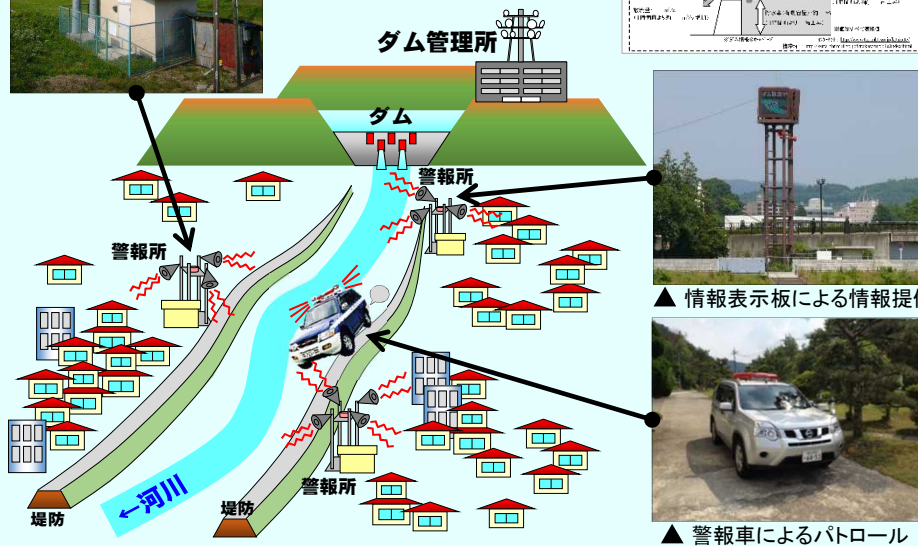
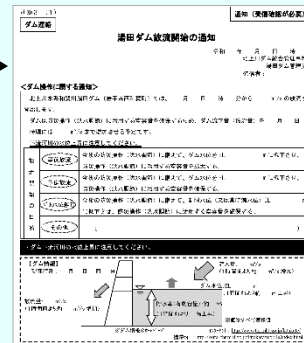
情報伝達・提供

放流開始にあたっては、あらかじめ河川を利用している人や下流沿川住民にスピーカーやサイレンによって注意を喚起し、警報車によるパトロールを行うほか、関係する警察・消防署・報道機関・市町村・岩手県等に通知を行う。

▼ 警報所からのスピーカーやサイレンによる警報



関係機関へのFAX通知



▲ 情報表示板による情報提供



▲ 警報車によるパトロール

放流操作

放流の準備が整い次第、下流河川の水位を急激に上昇させないようにゲート操作を行い放流を実施する。



▲ 操作室の状況



▲ ゲート放流状況